AutoExe Steering Leather Whap

№ MFD1360-08/MFD1360-30/MGG1360-03/MGG1360-08/MGG1360-30/MDY1360-08/MDY1360-30

取付／取扱説明書

株式会社オートエクゼ
〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1
TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼステアリングレザーラップをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、純正ステアリングのエアバッグ機能を生かし、グリップのみをレザーステアリングと同じ工程で装着するレザーカバーです。下記取付要領をじっくりお読みいただき、時間に余裕を持って作業を行ってください。尚、仕上がりには個人差がでることがあります。ご了承ください。

⚠ステアリングレザーラップ取扱のご注意

- ●本製品及びその付属品の使用について、商品に付属の取付／取扱説明書をよくお読みになって、定められた方法でご使用ください。お客様または第三者が誤った使用法により生じた事故及び損害については、当社は一切の責任を負いません。
- ●本製品は自動車専用部品です。その他の目的に使用しないで下さい。
- ●運転の際には、法規に従いシートベルトを着用し、衝突事故などにおいてエアバッグが正しく作動するようにしてください。
- ●本製品の装着後、運転時に不具合を感じた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。
- ●本製品の改造は絶対におやめください。
- ●レザー部は天然素材を使用し、専用の染色、なめし加工を施してあります。レザー表面は、キズがつきやすいので装着まで丁寧にお取扱ください。また、染色されたカラーは、使用状況により色落ちをする場合があります。

⚠ステアリングレザーラップのお手入れについて

- ●ステアリングレザーカバーはどの部分にもベンジン・シンナー等の薬品は絶対に使用しないで下さい。レザー部が変質したり、染色落ち等の原因となります。また、皮革保護用クリームをご使用の場合は、油分の残るタイプの使用は避けてください。

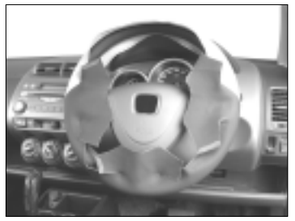
付　属　品

ステアリングレザーラップ／かがり糸（ステッチ糸）：一式／クラフト針（細）：1本／クラフト針（太）：1本／両面テープ：一式／ラバー：一式
※付属品が正しく入っているか確認の上、お取付完了後は、お子さまの手の届かない場所に、大切に保管してください。

ステアリングレザーラップ取付についての注意

- ●ステアリングレザーラップ装着に際しては、ステアリングを車輌から取外さない方が容易に作業が行えます。
- ●かがり糸を無理に引っ張りすぎると、かがり糸が切れたり、指を切る恐れがありますので細心の注意を払いながら作業を行ってください。ステッチライン（縫い目）やレザー部を無理に引っ張りすぎると切れたり、避けたりすることがあります。また、クラフト針に無理な力を加えると、クラフト針が折れたり、両先端で身体を突き刺す危険があります。細心の注意をしながら作業を行ってください。
- ●付属のステッチ糸や両面テープは失敗時に備えてあらかじめ多めに付属しております。失敗してしまった場合は、慌てずにやり直しをしてください。

①ステアリングの汚れをきれいにふき取ってください。
※特にスポーク部は両面テープ接着となるため、裏側を含め念入りに拭いてください。



②レザーラップを純正ステアリングに巻く。

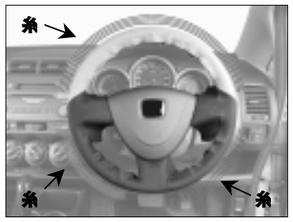
③純正ステアリングの位置に合わせてレザーラップを均等に整える。
※位置がずれると、しわの原因となります。
慎重に位置決めを行ってください。

④付属の両面テープをラバー裏側にカットして貼り付けて下さい。
※両面テープは非常に薄いので丁寧に取扱いください。

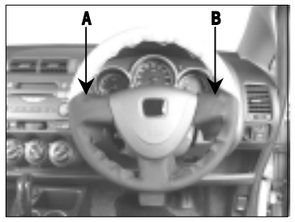
⑤レザーラップの立体形状部の位置に合わせてラバーを貼り付ける。

⑥ラバー位置が合っているかレザーラップを包み込んで確認して下さい。
※左右のラバー位置も合っているのか確認して下さい。

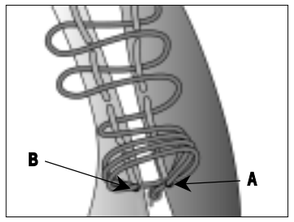
⑦レザーラップを純正ステアリングになじませる。
※手のひらを使って、グリップを握る様にすると容易です。



⑧縫い始めから縫い終わりまでの**4倍のかがり糸**を準備する。

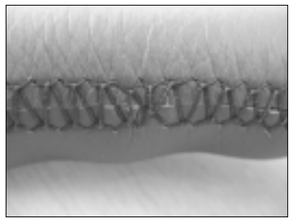


⑨まず、ステアリング上部AまたはBから作業をはじめます。

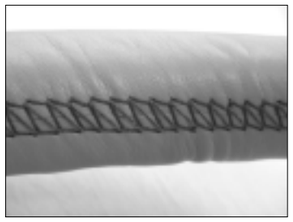


⑩玉結びを作り、クラフト針（細）を使用して、図のようにレザー裏側から糸穴A、Bの順にかがり糸を通し、レザーを絞り込む。

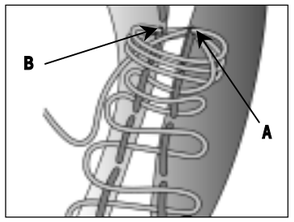
⑪クラフト針（太）に交換して、**レザーラップの位置がずれないよう**に注意し、レザーのしわを均等に伸ばしながらステッチライン（縫い目）を縫い合わせてゆきます。



⑫ステッチラインがずれてきた時は、次のステッチには行かずに、同じステッチをもう一度縫い合わせて次のステッチへ行き、位置を合わせます。



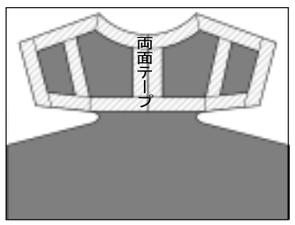
⑬ステッチラインがずれたまま縫い合わせると、大きなしわが寄りやすくなります。ご注意ください。



⑭縫い合わせが終了したら、クラフト針（細）に交換して、図のようにレザー表側から、糸穴A、Bの順にかがり糸を通してレザーを絞り込みます。余分なかがり糸ははさみで切りレザー裏側へ始末してください。

⑮上記⑩～⑭と同様の方法で、残りの部分を縫い合わせてゆき、すべての縫い合わせ　作業が終了したら、レザーのしわが均等に伸びるよう全周に圧力を加えながらなじませる。

⑯ラバーが動かないか確認の上、次の作業に移って下さい。



⑰付属の両面テープを図の斜線部の様にスポーク部分レザー裏面に貼り付ける。
※両面テープは非常に薄いので丁寧に取扱いください。

⑱両面テープの剥離紙を剥がして、しわを均等に伸ばしながらレザーをステアリングのスポーク部に貼り合わせる。
※レザーがはみ出た部分は、エアバッグやステアリングコラムカバーの隙間に入れ込むか、カットして下さい。

⑲裏面もしわを伸ばしながら貼り合わせる。
※スライス面を強く引っ張ると裂けますので、ご注意ください。

⑳レザーのしわが均等に伸びるように何度か圧力を加えながらスポーク部になじませる。他のスポーク部分も⑰～⑳の手順と同様の方法で仕上げます。

㉑全体のレザーのなじみ、ステッチ（糸）のほつれ、ずれが無いかを確認して完成です。
※より接着力を高めるために、両面テープは48時間程度放置してください。